



2020年2月14日

各 位

会社名 株式会社 ラックランド
 代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
 (コード番号：9612 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎
 (TEL：03-3377-9331 (代表))

2019年12月期 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年10月31日に公表いたしました2019年12月期通期(2019年1月1日～2019年12月31日)の連結業績予想数値と、本日公表いたしました同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 40,000	百万円 940	百万円 914	百万円 600	円 銭 73.67
実 績 値 (B)	40,366	1,106	1,045	915	111.79
増 減 額 (B-A)	366	166	131	315	38.12
増 減 率 (%)	0.9	17.7	14.4	52.6	51.7
(ご参考) 前期連結実績 [2018年12月期]	42,842	380	400	89	11.40

2. 差異の理由

2019年10月31日付で公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」(以下、業績予想修正)と比較して、シナジー創出の効果等により、営業利益率が増加したことから営業利益が増加し、その増加に伴い経常利益の増加となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の増加と、業績予想修正時点において株主増加による株主優待に対する交際費等の加算項目が多く見込まれたため、法人税等負担額を保守的に見積もっておりましたが、コスト削減効果もあり、法人税等負担額が少なく済んだことによる影響と当第4四半期にグループ化した子会社における負ののれんによる発生差益を特別利益として計上したことで約52.6%上ぶれる結果となりました。

以 上